

鶴山古墳(太田市)

これは東側から見た鶴山古墳/5世紀後半築造の前方後円墳/左手前か前方部、右奥が後円部/前方部は低くて長い、古式のスタイル

[video](#)



鶴山古墳測量図



太田市のご墳/太田市教育委員会文化財課 より

これは南側から見た後円部/右端は「くびれ部」、その右手が前方部

 [video](#)



前方部の中央辺りから「くびれ部」と後円部を見たところ/前方に説明板が立っている

 video



群馬県 鷲山古墳

指定 昭和二十六年十月五日
所在地 太田市大字鳥山字八幡

大田市の北西部の平地に位置する古墳の中核を
なす。墳丘の全長は二〇メートルで、前方部は
低く長い。墳丘は後円部八メートル、前方部三
・五メートルである。周堀は墳丘にそい一周して
いると推定される。石室は後円部墳頂上において
扁平な割石で囲まれ東西に長い長方形で、長さ
二・八メートル、幅八五センチメートル、深さ
六〇センチメートルである。昭和二十三年十二
月群馬師範（現・群馬大学）史学科研究室によ
り発掘調査が行なわれた。
石室内の副葬品は甲冑（甲三領・冑二領）、
劍三振、大刀五振、鏃、刀子、鉾、鎌、斧等の
鉄製品が多く、又、刀子、鎌、斧の石製模造品
が多量に出土している。他の出土品には、盾の
部分品と見られる隅金具、貝殻、漆等があり珍
らしいものである。石室外から鉾、鏃等が発見
されているが、埴輪、葺石は認められない。時
期は五世紀後半頃と推定され、古墳時代中頃の
特徴をよく示している古墳である。

昭和五十五年三月

群馬県教育委員会
太田市教育委員会

「上鳥山交差点より西へ約500mにある全長約95mの前方後円墳です。葺石や埴輪の存在は確認されていません。埋葬部は竪穴式石室で、遺骸は組合式の木棺に安置されていたものと想定されます。副葬品は大刀、劍、鎌や斧、槍鉋といった鉄製の武器や農工具、石製模造品のほか、甲冑などが出土しています。」

さて、後円部の墳頂に上り、北西方向を見たところ



その墳丘の裾を見下ろしたところ



振り返って南東方向を見たところ



その墳丘裾を見下ろしたところ/これが後円部墳頂から前方部方向を見たところになる/前方部はこのように削平されてしまっている/手前のくびれ部付近に説明板が立っている/その前方を横切って農道が通ってしまっている



そこで左手を見たところ



同じく、右手を見たところ

 video



これは後円部の墳丘を北西側から見たところ/周囲には周溝が巡っていた

 video



墳丘を南側から見たところ/前方部は畑地となって改変され、形が良く分からないが、このように側面から見ると納得できる/右手前が前方部、左奥が後円部



参考ホームページ

<https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0170-009kyoiku-bunka/bunkazai/otabunka46.html>

<https://blog.goo.ne.jp/noda2601/e/ecf03207513db010e8275d077ca02c16>

<http://homepage.obunko.com/iseki/kohun/tsuruyama.htm>

<https://ameblo.jp/fookky/entry-12556910192.html>

<http://hazukimap.sakura.ne.jp/guide/10g/10205oota/10205S005.htm>

<http://kofunnomori.web.fc2.com/gunma/ota/turu.htm>

<https://ankenna.blog.fc2.com/blog-entry-449.html>

<http://42tokyomusen.sakura.ne.jp/ben/syashin/oota/oota-kofun.pdf#search=%27%E9%B6%B4%E5%B1%B1%E5%8F%A4%E5%A2%B3%EF%BC%88%E5%A4%AA%E7%94%B0%E5%B8%82%EF%BC%89%27>

